

東郷村報

第58号

昭和31年10月10日

発行所

宮崎県東臼杵郡

東郷村役場

日向市富高

印刷所

安藤印刷所

電話 64番

新教育委員会の発足に当りて

昭和二十七年十一月公選制により選出された教育委員...

議會報告

東郷村議会定例会は昭和三十一年九月二十六日招集され...

派出所だより



押売の被害防止について

農繁期が近づきますと、毎年この機会をねらって押売がやってくる...

信用のある店で買うことがよいでしょう。押売がきたらまず相手にならず、ていよく断わることがよいでしょう...

Table with columns: 年度, 死亡, 負傷, 死亡, 負傷. Rows for 昭和二十九年, 昭和三十年, 昭和三十一年.

法の一部改正に伴い、常任委員会の数を制限、四部制とするため議会運営部委員会をとり除く議案で...

秋花譜

牧水

青すきゆたかになびくかげに咲きてうすくれなるの撫子の花...

昭和三十一年度 林産物品評会について

診療所だより

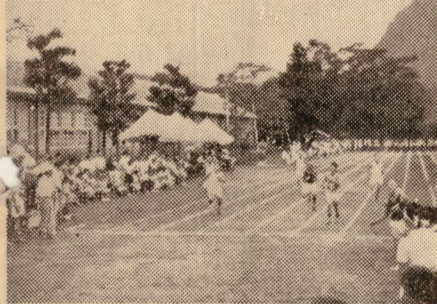
本村国民健康保険直営診療所開設以来、本村民の医療保健に御座られた所長上田健一郎氏は...

一貫の土

どの新聞だつたかに「ゆるんだ財布の紐」という見出しで連休の際、観光地の混雑の状況が書いてあった...



九月の行事から



敬老会

九月十五日「年寄の日」、どこも共催で敬老会が行われた。小学校の孫達が演ずる学芸にうれし涙をながし、婦人会の手になる杖をにこにこつきながら家路をたどる老人の姿はほゞえまじり限りであった。

牧水祭

九月十七日牧水祭が盛大に行われた。先生が若き日、かつての昼寝の石、今の歌碑に神酒がとくとくとそゞがれ、ありし日の先生を心ゆくまで偲んだ。子等のうたう「ふるさとの尾鈴の山の」……歌が秋雨にけぶる尾鈴連峯にとけこんで行った。

村青年団体育会

九月二十三日東郷村青年団の陸上競技大会が開かれた。当日は照りもせず曇りもやらず絶好の日和に恵まれて盛大裡に大会が終了した。終日若人だけの持つ意気と力が遺憾なく大会場に溢れしかも和気藹々たるうちに競技が進行し応援もまた上品で観覧の村人達に多大の感銘を与えた。

中学の体育大会

九月三十日、東中、坪中の体育大会が行われた。教育の一環として行われる中学校の体育大会はまことに見事なものである。入場式の厳肅さ、軒高く躍る日の丸を仰ぐ時日本人としての血潮が脈々と体中を流れる。グラウンドに展開される競技の数々を見ては世代を担う若人に栄光あれと心から祈った。

農家の食品加工について

「私達の住んで居る所は田舎で有りませぬ。日本の田舎の宮崎県、その宮崎県の中でも都会とは言えない場所に住んで居るのですから田舎と言わざるを得ないでしょう。田舎とは都会より遠い位置に有ると言う事は申すまでも有りませぬが、この「都会より遠い」と言う事は私達の行う農業に大きな影響を及ぼします。そしてこの「都会から(市場から)遠い事は如何に文化が開けても、どうにもする事が出来ない事だと思われませぬ。それは都会が近ければどうにもならない事で、如何に早い急行列車や飛行機でも通る所を通らねば私達の所迄は来ないと言

新生活実践指導地域に指定

県の新生活運動協議会が県下の優良団体を五つ選んでその地区を新生活特別指導地域として指定しました。我が東郷村婦人会がその指定を受けたのであります。本村の実践要項は

- 一、衣、食、住の合理化
二、結婚の簡素化
三、時間の励行
四、貯蓄の増強

この要項はすでに本村が永年その実践に努力して来た要項のみであります。指定を受けたのを機会に一段とこれが実践に力を合せてつとめましよう。

生命と幸福をおびやかす性病について

「体をむしばむ」という言葉がよく性病に使はれますが、これは性病が私達の知らないうちに感染し、知らない間に体にいろいろの害を及ぼしていくからであります。又この病気がかりますと、頭の毛の先から足の先まで、およそ人間の体でかゝらぬところが、脳をうに全体にひろがり、脳を侵せば気違いになつたり、つんばやめくらになつたり肝臓がおかされたり体中の機関はとろとろにわすれずのことです。

御挨拶

各位の自覚と理解によりこの亡国病が国内から追放される日が一日も早いことを祈つてやみませぬ。

裏作の考え方

現在裏作として作られてる主なものは麦とナタネで、この二つの作物を今後どう考へていつたらよいのか?

東郷音頭

実門作詞

- (1) おらぶ黒潮 尾鈴の風し
(2) 旭、照る照る 東の郷に
(3) みやこ泉岳寺 詩魂
(4) 鶴富姫離恨(わかれ)の 涙が溶けて
(5) 美々川の鮎(愛)と鯉(恋) さづかる福に

牧水祭短歌会

入選 選者 越智深水氏

- 追野内 前田 福美
脱穀のようやく終りかたは
らの菊のほこりをふりはら
うなり
小野田 島田 弘人
靱を乾す母のうしろに帰省
せり童の如く音忍ばせて

後記

毎年秋分の日青年団の陸上競技会をかわりに村内の中学校、小学校の体育大会が次々に行われる。体育大会は農村に於ける年中行事の内最も楽しいもの一つである。吾子が一生懸命に走る姿に、ダンスに親は何も忘れて見入る。勝つて涙、うまく出来ては、えみ。涙とは、えみの日である。昼ともなれば吾子が子を抱んでの昼食。朝夕いつも食卓を同じくする親子も今日の「おむすび」には又い知れぬ楽しみがあり、希望の味がある。やがてこの味も吾子の心になつたかしと思出を植えつづけるだろう。

幾度か心配した台風もたいしたこともなく過ぎて穂の秋を迎えることのできたのはうれし。重そうに垂る穂波に見入るとき、田植や田草取の苦しさもうれし思い出となつて農民の心に蘇つて来るであろう。土に生きる者のみ味うことの出来るのしみである。天高く馬肥ゆるの候、豊穰の秋をたたえよう。掛箱に夕陽残る暁長し

新生活と貯蓄

日本銀行宮崎事務所調べたところによると県内の貯蓄実績は、六月末で三百

八億四十六万円に達し、大へんよい成績だといふこと。四月以降にふえた分は、八億四千四百六十六万円。今年度の貯蓄増加目標五億に對し十七、八%という達成率です。

昨年は目標が四十五億であつたのに、同じ時期の達成率が十四、七%というので、今年はまだことに好調だといふわけですが、しかし貯蓄の裏に無計画な無駄づかいがなされていたとしたら、それは竹かごに入れた水と同じで貯蓄がなされなかつたと同じこと

また麦にしてもアメリカから入つて来ますから買上価格も年々下つて来ています。こも下つと、麦にまつては勿論、ナタネの価格についても決して楽観は許されませぬ。

以上から、麦やナタネの今後の作付に當つてどう考へたらよいか。麦は安いといつたものの、醤油にまぜたり、みそ、佃飯など、農家の自給経にめづる重要な品類である。類々、農家の自給経にめづる重要な品類である。類々、農家の自給経にめづる重要な品類である。